

かわいいやく

「世界大衆薬協会」特集号

昭和48年1月25日

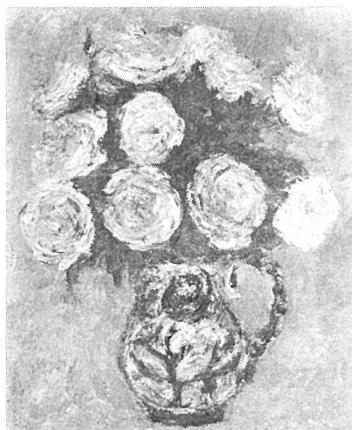
題字・先代 藤井得三郎氏

卸と夢と

岩城謙太郎

いわゆる七〇年代が「変化の時代」「創造の時代」をテーマとして幕明きしてから、モノも様式も思潮も急激な変転を開始したのでひとびとは戸惑いながらも変化をたのしみ、変化こそが現代であり、奇異なことが時代の先取りであるかのように錯覚させるような時代になつた。風俗や生活ばかりでなく企業も又多角化だ、脱本業だといわゆるハンドルをたのしんでいるかのように見える時代である。

しかし、この変化や新しものがりやに反動して古さやオリジナリティを求めて自分自身をふりかえりたくなるのも自然の摂理である。ヒトはわがままで浮気なものだと思う。動を求めるながら静をたのしみ、新を追いかねながら旧を懷しむような心情でバリエーションとオリジンの間を行き



玉置弘三氏

れば「らしさ」の価値を再発見しようとした復原の探究であろう。「女らしい女」が「女っぽい女」と違うよう、「卸らしい卸」も「卸っぽい卸」とは違うと思う。女っぽい女とは女の持つ（又は持つべき）いくつもの機能のうちのどれかを強調して

相手側から見た価値感を高めたもの。セールスポイントを教え、品揃えを調べ、キッチンと卸に支払う事に生き甲斐を感じさせるようなふんい気を小売につくる卸をいうのであ

つ戻りつしている。国鉄が「ディスカバーリジーナンス」をキヤツチングフレーズとしたポスターでおおいに旅行熱をあおつたり、服装界が「グッドバイジーンズ」を合言葉にしてボディシャツとジーパンスタイルで男っぽさを強調した女の服装から女らしきの服装へと転換を計ろうとした企画も共に変化の時代にそむいて原点を求めた行動であろう。いいかえられるように業界でも亦「卸らしい卸」が「卸っぽい卸」の後塵を拝しているような例が多いと思う。鼻下長族が多いと思ふ。鼻下長族が

「ほい女」によろめいているようにメーカーの営業部も「ほい卸」に傾倒して大勢を誤っていることもある。卸らしい卸への卸の復原が望まれる所以である。卸らしい卸とは（対小売業販売の場合）たとえ、こたつ薬局（お客様が来店するとやおら裏の部屋からモッソリ出てくる）にでも定期的に訪問、配達し、情報を提供し、メーカーの売りたいもののセールスポイントを教え、品揃えを調べ、キッチンと卸に支払う事

る。メーカーのgori押しに対しても、小売店の側に立ってブッファーの役目を果し、大口店の横流しには敏感な嗅覚を働かせるのが卸らしき卸である。"らしき卸"を育てるのがメーカーにとって役目であると認識し、"らしき卸"と共に歩むことが自達の繁栄につながることであると小売サイドが理解できる時代がくることがいわゆる"ディスカバー業界"の時代である。このことにまずかいやくのメーカーがパッチリ目覚めた時にこのよき時代の黎明が訪れると思っている。それがまた七三年の卸の初夢でもある。

東京都卸協同組合理事長
イワキ株式会社社長

このごとにまずかいやくのメーカーがパッチリ目覚めた時にこのよき時代の黎明が訪れると思っている。それがまた七三年の卸の初夢でもある。

東京都卸協同組合理事長
イワキ株式会社社長

日中新時代を むかえて

(株) 竜角散

社長 藤井 康男

われわれ家庭薬グループの処方の中には、原流をたどれば中国の漢方より発したもののが少くない。また現

般にとらえられている皮相な意味でなく、ひとと言いでいえば「従来、一国家単位で考へてきたことを世界的な単位で考へなければならぬ時代」ということになる。外国へ旅行し、外國語をしゃべり、外国から物を買い売り込むことだけでなく、一国エゴイズムを乗り越えて多数国家の共存の前提で仕事をやって行かねば許されなくなる時代である。

その意味ではいまだに業界の一部にある自由化反対の空氣や安手な海外投資の考え方には苦々しい限りであ

に製剤の原料を中國大陸に依存するものも多い。その意味で日中間の交流が正常化することはわれわれの等しく関心を持つところであろう。

今回、弘報委員会より表記の題で何か書くようとの御下命があり、若干おこがましいと考へましたが、事が事であるだけに理由もなく遠慮するわけにもゆかず敢えて私見を述べてみると御許しをいただきたままで第一に問題をとらえるにあたり、單に「日中」ということでなく七十年代当然予想されすでに大きな流れが動き始めている「国際化時代」という角度から考へてみたい。

「国際化」とは何であろうか。一般にとらえられている皮相な意味でなく、ひとと言いでいえば「従来、一國家単位で考へてきたことを世界的な単位で考へなければならぬ時代」ということになる。外国へ旅行し、外國語をしゃべり、外国から物を買い売り込むことだけでなく、一国エゴイズムを乗り越えて多数国家の共存の前提で仕事をやって行かねば許されなくなる時代である。

われわれは一般的に共産主義について知るところは少い。特に現在異なる五つの流れにわかれて別々の発展様式をとりつつある形から見て(岩波新書、「五つの共産主義」参照)、新らしい世界でこのイデオロギーが

その意味ではいまだに業界の一部にある自由化反対の空氣や安手な海外投資の考え方には苦々しい限りであ

て予断を許さぬものがある。

また中国という偉大な謎に満ちた

る。国際化時代にわが国ほどの経済もものも多い。その意味で日中間の交換が正常化することはわれわれの等

されるわけがないではないか。

一方諸物価賃金の高騰を理由に東南アジア等の開発途上国の安い労働力をあてこんだ投資など、長い目で見れば必ず日本のマイナス点にならぬものもある。

中国についても大きな歴史的転換を意識せずバスに乗り遅れまいといふ。まず第一に問題をとらえるにあたり、單に「はだしの医者」や「針麻酔」医薬品とは主義、思想、政治をこえたものになっているであろう。特に医薬品とは主義、思想、政治をこえたものである。あわてて中国を意識してスタンドプレーをとる前に、じつは中国における医療の形態も、單に「はだしの医者」や「針麻酔」だけなく古典的な漢方に加うるにか偉大で強力な思考力が存在することを感じられてならない。

私としてはあわてて原料を有利な条件で買い付けるとか何かを売り込む前に、じっくりと偉大な実験家の動きを見つめ、歴史的な視野において確実なものをとらえてから付き合いの方を考えてみたい。

冷静に見て、中国の医療はまだまだ遅れている。しかし医薬品の現地開発主義とか、ある種の外科術の目覚ましい成果が報道され、伝染病や害虫の駆除対策にさすがといふべきものもあるようである。

考えてみると漢方医学そのものが陰陽五行説に基をおき、一見非論理的に見えながら実施面では完全な経

国家と民族について距離的に近いとはあまりにも無知であった。

「史記」(司馬遷)や「三国志」を

驗主義でへらぬかれており、ともすれば理論仮説にふりまわされる西洋医学に比べてかえって実験科学的であるのは大いに考えるべきことと言えよう。

うとするのがそのねらいである。」
（ワイス著「生物学」東大出版会ヒ
リ）この文章の宗教とは著者の意図
ではおそらく広義の哲学やイデオロ
ギーをも含むものであろう。

実践から遊離一の教育方針がとらわれていた。これは古い型の医学教育のままであった。すなわち毎日八時半間の授業を行い、詰め込み主義を貫いていた。本にして書籍中心の教育を行つた。

導原理のすぐれていることを示すものと言つてよい。

もちろん私は毛語録を学習したわけではない。

毛学説の勝利により」とか「偉大な毛沢東の指導原理により」という言葉があるのを見て、むしろかつては奇異に感じた一人である。物理学や

実践の中で学び向上することだ」 へ
いうこととは遠いものであった。
大森真一郎著「はだしの医者」講談社
社現代新書より)。

五年程前、中国人化学者の手によつてインシュリンの全合成が報告されて以来、今日の方向は模索されていたのだと思う。

された科学的な薬品が、科学的な経営により科学的に宣伝され、科学的に販売されクスリ公害のもとになっているのであるから世話はない。

化学の専門的研究と毛沢東と一体何の関係があるのかと誰でもそう思う筈である。

しかし毛沢東の著作を読むとたゞかにそこには自然科学研究の一つの指導原理があるのに気がつく。

「はだしの医者は、公社の保健所でずっと養成されていた。しかし、文化大革命直前には完全な「三遊離」——プロレタリア階級の政治から遊離し、労農大衆から遊離し、生産の物質的、精神的幸福を深め、広げようとして、出来得るかぎり人間の理解し説明すること、そうすることによって、出来得るかぎり人間の弟であった。方法はお互いに違うがそのねらいは同じである。森羅万象



どこかの国の医学、薬学教育にとつては耳の痛いことばである。この一文にあるように、まことに現実に即した考え方ややり方を堂々と取り入れられる社会は過去に多くの例があるよう、たとえ今は遅れものなのである。

人工衛星や水爆の急速な開発はソ連共産主義もやり遂げたことで、別に中国がやったからといって全体主義の国の条件として驚くにはあたらぬ。しかしさだしの医者に見られるような邊地医療の急速な改善や、断手接合手術のような過去の医学常識をひっくり返す技術の開発、あるいは針治療法、針麻酔の成功などは國家権力の強弱に関係なく、むしろ指

本当に大切なのはその点であっての自信を持ちはじめたようである。もしそれが本当なら、それこそ哲学的な背景の勝利であり毛沢東の勝利となるだろう。

パンダ騒ぎも漢方ブームも日中貿易の拡大もこの一点に比べればピンボケであり空さわぎであり何の意味もない。

薬事委員長として今回の大衆薬規制の問題に委員の方々と共にとり組んでいくうち毎度つきあたる疑問は現在のわが国薬事行政のあり方であり、業界の姿勢であり、最終的に長い歴史を有する家庭薬处方の将

薬事委員長として今回の大衆薬規制の問題に委員の方々と共にとり組んでいくうち毎度つきあたる疑問は現在のわが国の薬事行政のあり方であり、業界の姿勢であり、最終的に長い歴史を有する家庭薬处方の将

来であった。

幸い委員の方々は生薬にたいへん詳しい津村順天堂の今関さん、薬制の生き字引といったら失礼であるが

いつも細かいデータに到るまで見逃さず卓見を示して下さる浅田飴の唐

崎さん、同じく薬制にくわしい金冠堂の山中さん、こういう方々に機会あるごとに、時には夜を徹して業界の将来を語り合ううちに、現状に関し、家庭薬に関して、共に憂うるところは多かった。薬事委員長なんていう厄介な仕事を一方的に押し付けられて少々理事会に対して含むところがあつたわけであるが、この素晴らしい先達方にお付き合い願えたことに

より私も目覚めるところの多かったことは感謝している。のんびりしてい

る家庭薬業界のなかではじめて将来を語りあえる先輩を見付けた想いであつた。

そのうちに話しがたまたま中国の薬品事情に及び、是非とも将来の家庭薬のため現在の中国を勉強してきたいという話しがもち上り、理事会にお願いして許可をいただいたのが今年の始めであった。その真意はこの文章に書いた如く、文化大革命後新しい形で新技術、新医薬品の開発に力を入れ出した中国から、現在各

種の矛盾の中で苦しむ（もつともわかつてない人も多いが）家庭薬業界に何らかの将来への希望を見付けて

きたいということに尽きていた。

残念なことに田中訪中後現在のお祭り騒ぎでは、たとえ訪中が実現し

てもわれわれのはじめに意図していきた地道な勉強や意見の交換は今のところ無理のようである。

浮ついた期待だけで踊っている現在の中中国ブームは短かいと私は見て

いる。彼等はそんなに甘くはない。このブームの前後に訪出し、冷厳な事実の壁にはばまれてなすことなく帰って来た人も多い。

近い将来、私其家庭薬の専門家グループが眞面目な目的で訪中出来るものと信じている。その時にこそわれわれは断手接合やはだかの医者や針麻酔を生みだした背景を存分に見てきたいと思っている。

世界大衆薬協会の宣言

五つの主目的

- ① 政府関係者に対し、医学・薬学の専門家に対し、又学会に対する、安全で且つ効果的なセルフ・メディケーションの総合的健康管理システムにおける貢献度につき、よりよい理解を求めること
- ② 世界保健機構、欧州会議、欧州経済協同体などの国際機関に対してセルフ・メディケーションについて説明すること
- ③ 消費者と産業の間のコミュニケーションについてのガイドラインをきめること。これは消費者のセルフ・ケアの知識を深め、セルフ・メディケーションに対する自信をつくり上げるのに役立つ。
- ④ 各国の企業間での広範囲

な、又永続した情報の交換のための機関として行動すること。
⑤ 企業と政府間の協力及び責任ある企業の自主規制を奨励すること。



壇上はプライアント議長

WFPM
（世界大衆薬協会）

(世界大衆薬協会)

津村重孝 津村順天堂副社長
太田 昭 太田胃散副社長
市川一雄 園部 明 都家庭薬協組常務理事
新井 誠 大衆薬懇談会事務局長
早尾 進 マイルズ日本支店
野瀬秀男 台糖ファイザー広報室
唐崎 実 堀内伊太郎商店企画部長
峰村幸子 津村順天堂秘書
（編集部） 玉置新治 学術部長

お話を加えさせていただければと思っております。今回は東京側の座談会ということになります。

それでは最初に世界大衆薬協会の理事もやつておられます津村副社長さんから、この日本で理事会を開かれるに至る経過をちょっとお話をいただきまして座談会にはいりたいと思います。

友田　本日は皆様お忙しいところ
御参加下さいましてありがとうございます。
「家庭薬組合」の広報紙に
今回日本で始めて行われました世界
大衆薬協会の理事会。業界としては
大きな意義をもったこの会合が無
事、しかも非常に盛大に、薬業界ば
かりでなく、政官界あるいは一般大
衆の方にもある程度評価があつたと
思われるような成果もあげて終了で
きたと思われます。その間において
実際に舞台造りに御活躍された方々
を、東京都家庭薬組合の広報紙の性
格上東京の方だけお集りいただいて
ご苦心談を伺い記録に残したいと計
画したわけでございます。

してまずは大変ありがとうございました。いろいろなことが成功した原因だと思いますが、なんと言つても前もって準備し、当日非常に働いてくださいました。いろんなことが成功した原因ださった今日御出席の方々を始めとする一連のチームの方々の御努力が決定打だったと思います。ちょっと今お話をありましたように、なぜこういうふうに東京で開催されるようになったかという経過をお話し申しますと、おととしバーデン・バーデンで発会いたしまして、去年ロンドンで第一回の大会がございました。その間数回の理事会があつたわけですねけれども、その理事会の開催されている時に、いずれ日本でも大会をやりたいという空気がありました。しかし私いろいろの知識を総合いたしますと、そういう世界大会を日本で開くことは非常に難儀であると、まずこれを極力阻止しようとした。私は反対したのですが、そうしていよいよドイツのバッハ理事から津村君ばかりしょっちゅうヨーロッパ、アメリカにひっぱりだしていき気の毒もあるし、日本でも理事会をやつたらどうか、それでわれわれ出掛けて行つて話をそこでやろうじやないか、という話になりました。理事会ぐらいなら、これはお受けでないと正式に申込む、ただし理事会と一緒に日本で引受けってくれという話でございました。そのオブザーバーを連れてという理由としては、日本のメーカーあるいは団体にプラスになる世界のWFPMとして、日本の団体なりメーカーにプラスになるようにするためには、そういう有力者を連れて行つたほうがベタアであるという理由である。二十名になるとと思う。こういう話でございました。拒否する理由もございませんし、私はセミ・コンベンションのようなものだとまあ年次大会の小規模なものをするというふうならば、これもいいじゃないかと判断したのですが、一人で決めたものじゃないのです。これは十一月のロンドンの時でしたね、ちょうど武田事務理事もおりましたので二人でまあ一応いいと思うけれども、日本に帰つてから返事をするということにして帰つて来ました。そして日本でさつそく日薬連の

理事会に計り、正式にお引受けするということにしたのです。最初からこのミーティングは世界大衆薬協会が日本へ出張して来る大きな理由として、日本の企業あるいは日本の団体のプラスになることを目標にして

いくというふうに受けでおりました。いろいろな御苦心、あるいは経済的な出費を伴うものでありますけれども、それに見合だけのものはできる可能性があると思いましたので、私も積極的に進めていたということが、この開催されるまでの簡単な経緯であります。

友田　どうもありがとうございました。去年の秋のロンドン大会の時には市川さんも御参加いただいたおりますが、大衆薬というものの本質がますます世間で認められたということでござりますね。では財政的な面は太田さんが……。

太田　財政的な面は堀さんだと思ひます。

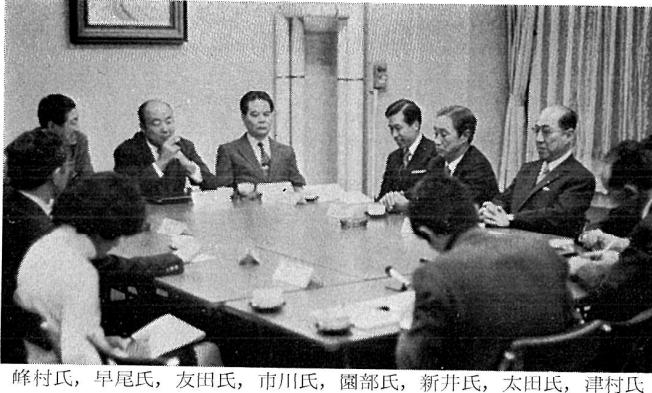
友田　そうですか。

太田　市川さんが一応經理面全般をやって、堀さんはむしろ資金集めのほうですね。

友田　それでは経理面の御苦心談を市川さんお話をいただけますか。

市川　資金の調達は業界各位のご

協力により、大変順調に調達出来ましたことを感謝致して居ります。当初予算編成時に、準備費のための費用が予算計上されていなかった。これはまったくゼロに等しいものですから、その後実際の出費を集計して



峰村氏、早尾氏、友田氏、市川氏、園部氏、新井氏、太田氏、津村氏

です。けれどもなんにしても事務局というものが実際問題あるようなないような面もありまして、それともうひとつはメーカー各社ほとんどが全部自前でもってやつていただいだ。例えば東京から京都のパーティに出ますにも、全部会社側は自前で参加しておられますし、それからいろいろなお手伝するにしても、ミーティングに参加するにしても、海外に出張するにしても自前でやつていらっしゃる。これが予算的に非常に助つていることと思います。ですから現実に事務局を設けて人を雇つてやつたならばぼうだいな費用がかかったのではないかと思ひます。

予算的には準備費の考え方が甘かったということ、もうひとつは各メシカーさんに費用を自前で支出頂いたことが経理的に大きな赤字も出さず、比較的順調な運営が出来たことだと思います。

友田　こういうことも家庭薬メー

カーさんが本当にわれわれの業界となかつた分だけが、また結局赤字に

なつたわけです。それと帝国ホテルのパーティでなるべく有料の参加者を募集したわけで、これが京都、東京両方で約七十数万円、有料の参加がありました。それでパーティ費を補い、予算的にも助つたわけです。けれどもなんにしても事務局というものが実際問題あるようなないような面もありまして、それともうひとつはメーカー各社ほとんどが全部自前でもってやつていただいだ。例えましても、横の線で連絡が充分でなかつたということは、事務局次第で随時日薬連大衆薬懇から連絡いただきまして、横の線で連絡が充てられました。連絡不行届な点が多少ありますし、連絡不行届な点が多少あります。そこで、非常に申し訳ないと思つたことと、非常に申し訳ないと思つておられます。この次の時はそういう面を直して、中心をもう少し充実していただくと、命令系統と言つて、そういう点をはつきりして頂くと非常にやりやすいという意見がほかの各団体からもありました。

園部　日薬連と賛助団体になりました日本大衆薬懇談会が中心で実施され、日本直販メーカー協議会、大阪家庭薬協会等関係団体が協力しました。次第で随時日薬連大衆薬懇から連絡いただきました。横の線で連絡が充てられました。連絡不行届な点が多少あります。そこで、非常に申し訳ないと思つたことと、非常に申し訳ないと思つておられます。この次の時はそういう面を直して、中心をもう少し充実していただくと、命令系統と言つて、そういう点をはつきりして頂くと非常にやりやすいという意見がほかの各団体からもありました。

友田　大衆薬懇の新井さんのほうもいろいろと御活躍されたと思うのですが、

新井　まあ実行委員会の窓口といふことで仕事を仰せ付かつたわけですが、それでも、実施主体が日薬連で、予算執行権も日薬連にあるわけです

からこちらであまり笑つ走り過ぎて
もいけないということで仕事がやり
にくかったともいえます。あとはば
うだいな大会資料の印刷に悩まされ
ました。今になれば今後の教訓と言
うことになりますが、印刷には非常
に時間がかかるので、よほど早手回
わしに手を打たなければいけないこ
とがわかりました。（笑い）

友田 そうですね、太田さんは総
務関係……。

太田 いや通訳、接待、広報の三
部門をやらさせて頂きました。接待とい
ふと言つても当日の受付等の接待とい
うことです。私は実はこういうよう
な大会準備の経験がないので適任で
はないのですけれども、津村さんか
らやってくれと言わられたのでしかた
なくやつた。（笑い）

まあ考えてみますと、本当にやる
気になつていただける方があつたか
らうまくいったんだということです
ね。委員の皆さんのが非常に熱心にや
ついていたので、予想以上に成
功して、本当にありがたいと思って
おります。

津村 本当に太田さんが言われる
とおり皆さんの協力ということが、
参加された新薬の方々、一般の方々
が非常に感心されておられた。まあ

これは家庭薬、先程お話をあった家
庭薬の特長ありますけれども、本
質的に言うと家庭薬はお互に切
実な競争がシビアに扱われておら
ないので、団結も非常にしやすかつ
たという基盤があったと思うので
す。まあこういうことに対しての関
心が高まつたとか、まあそれが一番
いい形で全部全面に出てきたとい
うように、私は特に思つております。
先程お話をあつたように多少中心が
支離滅裂であつたということは今度
の場合、特にややこしかつたのはW
F P M M というものがここにあつ
て、日薬連一般薬委員会といふもの
があつて、W F P M M のものであり
ながら一般薬委員会が……。そうい
うことでハッキリ言えば日薬連のわ
れわれもなれていたなかつた。ですか
ら境界点がまったく不明のまま進行
していったというようなところが、
今になってみれば反省される。簡単
に言えば印刷物ひとつでもいろいろ
本部の許可を得なければならぬ。

早尾 そのとおりです。百%。
友田 外国経営の会社として、よ
くその間の潤滑油的なお仕事をされ
たと思われる早尾さん……。

早尾 最初にブライアント氏から
思つてボール紙に要点を書いて作
れども。あれが大失敗に終つていた
から、その点においてだけでも本部の
ほうから大分小言が出たのじゃない
かというような気がします。それに
関連して言葉の問題、今後日本が世
界の組織となつてやっていく時のす
べての大きな問題じゃないかと感じ
ました。それも大変皆さんに協力し
ていただきましたので……。

友田 まあ外国から三十人であ
りますか、有力な方々がお見えにな
りますか、お見えになつたんでは
あります。我々は、こっちで
英語のスライドを三枚見本として送
って来たんです。我々は、こっちで
スライドを作らなきゃならない。
英語、日本文両方のスライドを作ら
なければならぬのかと随分考えた
んですけども、ハッキリわからな
いので、一応全部翻訳しまして、日
本語のタイプを打たせ、それをもと
に今度はスライドを作らせまして、
ブライアント氏が着く前に日本語の
スライドを一応作つておいたので
す。もしそのスライドがうまくいか
ない時には誤解を招くといけないの
で、翻訳したものを全部刷りまし
た。これは薬業界としてこういう
多数の方を一度に迎えたという会議
はおそらく初めてだらうと思いま
す。その間において、外国経営の会
社と言つては……。

早尾 そのとおりです。百%。
友田 外国経営の会社として、よ
くその間の潤滑油的なお仕事をされ
たと思われる早尾さん……。

早尾 最初にブライアント氏から
思つてボール紙に要点を書いて作
れども。あれが大失敗に終つたんでは
あります。その時にはだれがその代金を出してくれ
れるのかわかりませんでしたけれど
も、一応ブライアント氏が出してくれ
るだろうと思って作つたんです。
それからあとは私も聞いたのですけ
れども、コンブトン氏が大衆薬メー
カの社長として勝手なことをしゃ
べると大変なことになるので、コン



ブトン氏自身も言っておりましたけれども会社の法律担当の人々がよつてたから彼のスピーチを書き上げているので、自分の考えがどのくらいはいっているのかわからないと言つております。彼の原稿を送つて参りましたので、翻訳した処、コンブトン氏が羽田に着きましたして、迎えましたので、翻訳した処、コンブトン氏が羽田に着きましたして、迎えましたので、翻訳した処、コン



新井 太郎 氏 田 津村 氏 氏

私が翻訳したとおり読んでいるのと私が翻訳したとおり読んでいるのと、同じことなのかな（笑い）読んでも同じことなのかな（笑い）それが終つたらコンブトン氏は書いていないことをしゃべったんじゃないか、それがやっぱり大分心配だつたんですね。京都に行く汽車の中で自分は大分余計なことをしゃべったと、何をしゃべったか非常に心配なんでテープを取つてあつたらそのデータからその分をタイプで打つて送つてくれないかというので、新井さんからお借りしました。その録音のスピードが違うもんですから、私外部にコピーのんだもんですから違うほうを録音して、かけてみたらコンブトン氏のは入つていらない（笑い）また大騒ぎして逆のほうを回わしてやつと見つけたんです。コンブトン氏が話しているところをカセットに入れて送りました。会社の法律担当のほうではコンブトン氏が何をしゃべったか、それに基づいて将来の会社のPRとして検討したいから、できるだけ早く送つてくれと毎日のようにテレックスがきましてですね。

野瀬 今回同時通訳をヴィックス・ジャパンの吉田さんと一緒に担当で……同時通訳というのはこっちが読んでも同じことなのかな（笑い）読んでも同じことなのかな（笑い）私が非常に気を使つた点は、予算的な制限があるなかで同時通訳のいい代つたんですけど、そのたんびに通訳のバックグラウンドをできるだけ聞きだして、まあ自分なりに大丈夫だという人達にしぼりました。と言うまでは同時通訳の場合は先程津村さんがおっしゃったとおり会議を担当する通訳によって非常に内容が変わってくるということですね。気を使いました。もうひとつは通訳のメンバーが決つてから会議の前に充分役員の方々と直接打合せをさせてくるということですね。気を使いました。もうひとつは通訳のメンバーが決つてから会議の前に充分役員の方々と直接打合せをさせてこの会議が行なわれた時に、同時通訳が非常に貧弱だったんです。そのためにはわれわれは講演の内容がつきりつかめないような状態でした。その点を非常に痛感いたしまして、今回は特に同時通訳は完全なもんにしていただきたいと野瀬さんに強くお願いしたわけです。それと同時にお互いのコミュニケーションが非常に大切だと思いました。これはわれわれが向うに行つて通訳が不足のために充分相手と話ができるなかつたわけです。それで今回は通訳して頂く方を各社から沢山だしていただいて

野瀬 今回同時通訳をヴィックス

津村

野瀬さんの会社と私どもの

会社とあまり遠くないせいもあってもう何回となく私どものほうへ来ていただいたが、とても気を使つてただいて、またこまめに行動していくたび、一日に二回ぐらい会つた日もある。大変おせわになりました。

これがやっぱり同時通訳の人々に対する態度でもなんでも整備していく原動力であつて、一時は二回も三回も来ていただいたこともありますて、まあ大変な仕事でしたね。

トントン氏が羽田に着きましたして、迎えましたので、翻訳した処、コン

たんですね。京都に行く汽車の中で自分は大分余計なことをしゃべったと、何をしゃべったか非常に心配なんでテープを取つてあつたらそのデータからその分をタイプで打つて送つてくれないかというので、新井さんからお借りしました。その録音のスピードが違うもんですから、私外部にコピーのんだもんですから違う

ほうを録音して、かけてみたらコンブトン氏のは入つていらない（笑い）また大騒ぎして逆のほうを回わしてやつと見つけたんです。コンブトン氏が話しているところをカセットに入れて送りました。会社の法律担当のほうではコンブトン氏が何をしゃべったか、それに基づいて将来の会社のPRとして検討したいから、できるだけ早く送つてくれと毎日のようにテレックスがきましてですね。

私は言つてないか聞かないでデータだけ送ちやつたわけなんです。コンブトン氏がいざ話しましたのを同時通訳で聞いたんですけども…。ほとんどさん。

友田 では台糖ファイザーの野瀬さん。

に行つた者から電話がかかり、また違つた原稿を持ってきたと言うので翻訳をまたやり直してくれと言われ、次の朝原稿をもらいました。いやよ締切りが近くなり、大分夜遅くまで翻訳をやりました。コンブトン氏がいざ話しましたのを同時通訳で聞いたんですけども…。ほとん

若い女性の通訳の方にも来ていただき
いて色々とよくなり、レセプション
ではよかったですのではないかと思いま
すね。又、こういう際ですから外
部にPRが充分に行わなければいけな
い。この二つを充分重要視してやつ
たわけですけれども、通訳を担当さ
れた野瀬さん、吉田さんまた広報を
やられた安達さん、この方々には大
変よくやっていたので、この
誌上を借りて特にお礼を申し上げた
いと思うわけです。

い
ま
す。

友田 宿泊関係で非常に御苦労さ

わたくし唐崎さん
唐崎 先程来皆さんのがおっしゃつたとおり、私もやっぱり事務局がしっかりしていなかつたところが、非

泊先である帝国ホテルあるいは京都国際ホテルにお願いして、それぞれの部屋を確保すると、これで終りだと思っていたところが、あにはからんやまずだれが宿泊するか、どういう方が来るのか、それが事務局がしつかりしていないので全然わからな。そこで日薬連の代表としてWFPMMに出ていた関係で、津村さんのはうにWFPMMから連絡が入っているので、その連絡文を英文のまま津村さんの秘書である峰村さんからちようだいする。それも非常に曖昧で更に絶えず変更されます。しかも開催の半月前になつても確定したものが届かない。これでは宿泊のみならず接待のほうにしろその他の関

人とか出席者の名簿らしいものを作つたのが開催十日前位でした。

津村 唐崎さんが一番御苦心なさつたのは事務的に遅いということで、私どもなんかもよく外国なんかへ行つて予定変更するのですが、いらっしゃる方が皆さん大変偉い方ばかりなんですから、ひんぱんとして予定変更がある。これが電話できしたものや手紙で前から確認だと言つてきたものが入りまじつてどちらを信すべきかというようなことになり、峰村君と比較しながらやつたわけですが。これは大変な御苦労。：：：確認書を渡されるとそれがかえつて間違つていたりして……。（笑い）

側の委員の宿泊、旅行を一切取仕切っていた大いに助かったと思います。唐崎さんが窓口になり、津村順天堂の峰村さんと連絡して動きだす。それから何か書類がくると野瀬さんのところに行つて、日本語がくればそれをすぐ英語に直し、英語がくればそれを日本語に直す。それが全部野瀬さんのところにしわよせがいきました。プログラムの印刷の締切が目の前に迫つていて印刷所の方はやいやい言つてくる。そのたんびに野瀬さんに照会して英文を問い合わせたり本当に御迷惑をかけたと思

常に困ったわけです。まず最初に私のほうは宿泊を担当ということで、簡単に承知したわけですが、これほど大変だと思いませんでした。最初は、リストをいただいて、それを宿



友田氏 市川氏 関部氏

、それぞれに皆電話でもって、一応照会したわけです。ところがどういうわけかその子会社の関係の方々があまり御存じない。「一体どういう催しをやるんですか」とか、あるいは知つておりましても、「どんなケジュールになつているのか」と逆に私どものほうに聞かれるしまつでした。それでも再三連絡を取り、な

友

次田 それでは同様に御苦労され

うが係りでございまして、会場、宿泊と観光、これが私どもの分科会でありまして、そのうち会場を引受けたわけなんですねけれども。先程来お話をありましたように、津村さんが八月初旬ヨーロッパの理事会に出席される前に大ざっぱなスケジュールの骨組が出来ていましたけれども、正式のプログラムが出来たのはお帰りになってから出来たわけであります。そのヨーロッパの理事会に出席される前に大ざっぱなプログラムを組んだ時に、東京の帝国ホテル会場、それから京都国際の宿泊ホテル会場、それだけは一応押えていたわけですね。今回の開催日が時期的にも混雑する頃で押えていたのが大変よかつたのではないかと思いました。確か津村さんがヨーロッパに行かれの前で、帝国ホテルの隣の日生ホールとか、それから農協ホール、日経ホール、経団連ホール、全部当つたんでそれが、その中で経団連ホールだけが空いておりまして、とりあえずそれだけは押さえました。それから、同様に通訳もいるということでありましたので、サイマルインターなショナルのほうも一応予約だけはしておいたわけなんですねけれども。先程来お話をありましたように、津村さんが八月初旬ヨーロッパの理事会に出席される前に大ざっぱなスケジュールの骨組が出来ていましたけれども、正式のプログラムが出来たのはお帰りになってから出来たわけであります。そのヨーロッパの理事会に出席される前に大ざっぱなプログラムを組んだ時に、東京の帝国ホテル会場、それから京都国際の宿泊ホテル会場、それだけは一応押えていたわけですね。今回の開催日が時期的にも混雑する頃で押えていたのが大変よかつたのではないかと思いました。

たわけです。そういう段取りはヨーロッパの理事会に出られる前に一応しておいたわけです。ところが具体的に細かい話を進めるという段階は、津村さんがお帰りになつてからでありますして、色々の情報を集めて準備を進めたという次第であります。

友田 非常に期間的に短かった
市川 これは先程来皆さんのお話
にもありますように、その間大体一

月半ぐらいの準備期間で、大会当日を迎えたわけなんですけれども、準備期間が短かったとすることが、皆さんのが大変苦労された大きな原因になっていたんじゃないでしょうか。大体半年前ぐらいこういう準備がされていなければ完全なものができないかただらうと思いますがこの短い期間であれだけの成功が得られたことは皆様の絶大なご協力の賜だと思います。それから観光にいたしましても、目に見える形に現れるものであって、先程来のお話では目に見えない御苦労を言っておられるわけですけれども、形に現れるものがスムーズに予定どおり順調にいかないと、お客様に對して失礼なことになりますので、特に観光業者の方々との折衝をその間何回となく繰返しいたし

ました。まあおかげ様で会場、観光業者の方々も一生懸命やつてくれましたので、それほど支障なく済んだと思います。それと最初は大阪の皆さんもこれは東京でやることだからいいのではないかというお考えを持っておられた様ですが、だんだん期日が迫るにつれて、東京の準備の内容等も逐一……われわれのほうはロートさんが委員長をしておられましたので、報告しましたところ、ロートさんのほうがむしろ積極的になりましたので、細いことまで、色々御注意、御心配してくれまして、それらのアドバイスで非常にうまくいったのではないかと思います。それからもうひとつ事務局がないということなんですねけれども、これは新井さんは事務局に代る立場でお仕事をしておられたんですね。ですから御自分が運営に対する全ぼうの情報を収集してやっておられるんじゃないんで、ある部分は知らない部分があると、そういうようなこともあります。ですから実際事務局といふのは色々な情報を集めて、それ自分が判断して分担している人達にいました。

、情報水流していくことが必要じゃないかと思うのです。従いまして私が会社におりましても、いろんな御注文が耳に入ってくるわけであります。これをああしてくれ、こうしてくれと、ところが私自身も判断に困る様なこともありますから、事務局の設置は今後に於てより重要な問題だと思います。

津村 もうひとつ私は会場でパーティのことですが、非常に運が悪かった。十月九日は大安であったと
言うことです。実はこれは陰のマイナスだった。そのマイナスを乗り越えてあれだけのものを出来たというこ
とは非常に皆さん御苦心の現われだろうと思います。私は一番ひやひやしていたのですが、大安の日にホ
テルの連中にいろいろな命令をします。それでも、ホテルの連中がすでに普通以上の用事を抱えておるわけです
ね。その連中をこぎ使うといつたら何んですけれども、思うように動かすということは非常に大変だったと
思うことがひとつ。それから準備期間が遅れたことのひとつには、八月がヨーロッパのバカンスに当り、皆
んなが長期休暇を取っている。通信に対する返事が非常に遅かったといふ。これが最後に結局しわ寄せにな

つて一ヶ月ほどプランクになってしまった。

私が五月に行った時のあれでは七月の遅くとも初めまでは全員の参加者の確定名簿を送りますと

いう約束だつたんです。ところが七月になつてもこない。私が八月に行つてもう一回催促したら、いや八月十五日までには間違なく送ります

。きたのがアメリカとカナダだけです。ヨーロッパは全部こない。こんな

いどころか、私どもからだいたいこういう粗いスケジュールを送ったや

つが全員に行渡っていない。ですか

ら一体俺達は東京に行ってどこに行つたらいいんだというような（笑）

まったく私は一時怒られるような形で詰問されました。それで私がその説明をしたら向うもわかつてくれま

したけれども、一体どこに行つたらいいのかだれもわかつていません。こ

そから、それが届いていない、これはバカンスの問題、夏にぶつかつたための、弁解をかねて言いますと

ね。それでどうもそれぞれの返事が遅かったというのがしわ寄せになつてしまつたんだということですね。

友田 ヨーロッパのバカンスというものが全然われわれと感覚が違うか

ら……（笑い）

津村 一ヶ月というものは仕事をしないという考え方ですかね。

友田 向うはそういうものに溶け込んでいるけれども、われわれは溶け込んでいない……。（笑い）

津村 日本でも年末年始は一ヶ月ほとんどだめだということで、やや似ているかもしれませんね。こっち

が向うの習慣をよく知らなかつたということがかもしませんけれども、

唐崎 先程お話をありましたが国際的な催しに御参加された方がおら

れたということも、今回非常にブ拉斯になりましたと思ひます。先程会場設

営のことを簡単にお話されました

が、例えは参加者の国旗の問題だと

か、その他細かい点まで市川さんに

気を使っていただき目に見えないブ

ラスになつていたと思います。

友田 国旗に対する考え方とい

世界大衆薬の総会が開かれるのでは

ないかということを聞かれましてそ

うではなくて今度理事会がこの秋に

開かれるのであつて、都のほうでは部長は国際的行事を東京都でやるん

ですから、理事招待のレセプション等開催の予算を計上したいというよ

うなお話がありましたんですが、そ

れで今度は理事会ですから、ぜひ総

会等を行うには事前に充分御連絡い

たしますからというお話をして参りました。まあそういう点準備期間が

短かっただめ、お役所の仕事は急に追加予算とか、なかなか困難で、総

会等開催される機会には充分連絡し

なければならぬことを痛感致しました。

唐崎 そうですね。日本と違いま

すからね。

友田 ある一部の新聞に理事会で

あつたということもあるんですが、もう少し業界と申しますか、薬局の

ものも大分われわれと違つたものがありますからね。

唐崎 そうですね。日本と違いま

すからね。

友田 大会も非常に大成功に終つたといふことがあります。それと

反省すべき問題があれば、そういう

こともありますからね。ちょっとお話をいただければと

思いますが、今のそれぞれの担当の方

ができなかつたということは確か

でございますが、ひとつにはこれほ

ど大成功に結びつけられるかどうか

ということについて自信満々というほど準備ができなかつたので、手を広げることに始めから頭がいっていなかつた。（笑い）大成功だつたからやればよかつたというような感じはあるんですけど……。

新井 卸連合会の会長さんとか全案内申し上げたのです。薬局や薬店ですが、御案内申し上げてこれがワード入り過ぎても困るという面もあります。

国団体のトップクラスの方々には御案内申し上げたのです。薬局や薬店で、今度は理事会ですから、ぜひ総会等を行うには事前に充分御連絡いたしますからというお話をして参りました。まあそういう点準備期間が短かっただめ、お役所の仕事は急に追加予算とか、なかなか困難で、総会等開催される機会には充分連絡しました。

友田 ある一部の新聞に理事会で

あつたということもあるんですが、もう少し業界と申しますか、薬局の

代表者あるいは卸代表者の方々に呼び掛けて盛り上げたからかつたんじや

ないかというようなことを書いてあつた新聞もございましたけれども、

市川 マつたくそのとおりだと思

います。それが三百円なんです。それがひとつ紛失しますと二万円の保証を取ります。それで結果的にはどうだつたかといふとやはり無くなつたんですね。無くなつたのはレシーバーのセ

ットがありますね。その半分を持つていかれちゃつたんです。

津村 その損害金は幾らですか。

市川 それは一万円ということなんですが、私請求書を見た段階ではそれが出ていないので勘弁してくれ

たんじやないかと思つて いるんで
す。(笑い)

新井 この前の会議で外人さんが
記念品だと思つてカバンの中に入れ
て帰っちゃったことがあるそ
うで

す。一個無くなると二万円の弁償で
しょ。予算に書きますからね。(笑
い)

市川 実に気を使いましたよ。ホ
ールのほうでも過去の国際会議で必
ず二つ三つは無くなっているとい
う話を聞いておったんですよ。(笑い)
新井 いかにそれをチェックする
かということです……。

津村 一個借りるのに三百円でし
ょ。用意し過ぎて、当日になつて申
込むわけにはいかないのでから、
来る人が少いとむだになるし、で少
く頼めば來た人達に行渡らないとい
う。これが国際会議でのひとつつ
まらないネックになっておりま
ね。

市川 それからコーヒーブレイク
ですが、あれは実費にしようかとい
う話がありましたが、たいし
た金額じゃないから会でもとうとい
うことになつてもったんですけれど
も、これは何人分用意するかとい
問題もひとつあつたわけです。一応
三百人分用意させました。余つても

会で全額支払うのですが、結果的に
は十人分ぐらい余つただけなんで
す。これもうまくいきましたよ。

津村 それはたいしたもので
したよ。日本側の反響がものすごく
よかつたんですね。最初小さな会だ
と思っておったらしいんですけど
も、大きな会場に来てどんどんいっ
ぱいになつてくるんで大変なことに
なつた。段々神経質になつてしま
てね。すごい反響があつて喜んでお
りました。ブライアントさんが日本
人というのは何んでも熱心ではない
のか、ということを言っておられま
した。コンプトン社長もびっくりし
ておりましたよ。うちの会社も随分
PRになりました。それから津村さ
んがニュースの送り方で大分苦労し
ておられたんですけども、共同通
信からニュースが入るとまづロイタ
ー系に行つてしまふんですね。共同
とロイターとくつついてるんです
ね。そうするとアメリカの新聞はニ
ュースをもう買わないというので
す。折角マイルスの幹部が日本に来
てもニューヨークタイムスもウォー
ルストリートジャーナルもこの大会
のニュースを載せてくれないと言う

早尾 なにしろ非常に驚いていま
したよ。日本側の反響がものすごく
よかつたんですね。最初小さな会だ
と思っておったらしいんですけど
も、大きな会場に来てどんどんいっ
ぱいになつてくるんで大変なことに
なつた。段々神経質になつてしま
てね。すごい反響があつて喜んでお
りました。ブライアントさんが日本
人というのは何んでも熱心ではない
のか、ということを言っておられま
した。コンプトン社長もびっくりし
ておりましたよ。うちの会社も随分
PRになりました。それから津村さ
んがニュースの送り方で大分苦労し
ておられたんですけども、共同通
信からニュースが入るとまづロイタ
ー系に行つてしまふんですね。共同
とロイターとくつついてるんです
ね。そうするとアメリカの新聞はニ
ュースをもう買わないというので
す。折角マイルスの幹部が日本に来
てもニューヨークタイムスもウォー
ルストリートジャーナルもこの大会
のニュースを載せてくれないと言う

友田 特に局長さんのお話は異例
であるというぐらいい家庭薬を認めて
いただきました。御発言がございましたね。
津村 非常に理解していただいて
大臣がレセプションに出たというこ
とが、最後の花を添えた結果になり
ましたね。

園部 大臣はレセプション当日出
席すべき会合が三つあったそうで
す。私大臣の挨拶のことで当日の
連絡をしていなかつた面もありま
したが、何んと言ふか各課に充分
連絡をしてしまつたのであります。
四、五日前に厚生省へお願いに参り
ました。私大臣の挨拶のことで当日の
セプションの元原稿を置いてきちゃ
つたんですよ。それで京都の会場か
ら自宅に電話を入れてワifixに原稿
を読みこませてなんとか間に合わせ
たわけです。

早尾 それで早かつたんですね。

津村 それで私東京に帰つて来て
翌日帝国ホテルで又コンプトンさん
に会つたら、あの原稿もうもらつた
が。現在各国が関心をもつてゐるこ
とを日本で開催したということは誠
に時宜を得たもので非常に意義があ
つたと存じます。

津村 翌日汽車に乗りまして、今
日は観光だからようやく楽ができる
ところとくどいほど頼んで、それが
共同ロイターと同時に行くようによ
うまくいきましたね。助りました。
新井 厚生省もかなり積極的にや
っててくれましたね。あれ以後も何か
とご協力を頂いています。
友田 特に局長さんのお話は異例
であるというぐらいい家庭薬を認めて
いただく御発言がございましたね。
津村 非常に理解していただいて
大臣がレセプションに出たというこ
とが、最後の花を添えた結果になり
ましたね。

园部 大臣はレセプション当日出
席すべき会合が三つあったそうで
す。私大臣の挨拶のことで当日の
連絡をしてしまつた面もありま
したが、何んと言ふか各課に充分
連絡をしてしまつたのであります。
四、五日前に厚生省へお願いに参り
ました。私大臣の挨拶のことで当日の
セプションの元原稿を置いてきちゃ
つたんですよ。それで京都の会場か
ら自宅に電話を入れてワifixに原稿
を読みこませてなんとか間に合わせ
たわけです。

早尾 それで早かつたんですね。

太田 それからレセプションの席で通訳の方が三十名ぐらいおられたので、大いに活用していただいて充分あちらの方とお話ししていただけたと思うんですが。私が見たところまだ充分活用されていなかつたですね。通訳の方は手持無沙汰にして



玉置氏 唐崎氏

はもうかたっぱしから一人通訳を専属についてもらつて話し合いました。コンブトンさんからボリスさんから皆さんに話掛け、いろいろと収穫を上げましたけれどもね。大変よかったです。だからこの次会の時には皆さんのが引込思案にならないで、どんどん通訳を利用してください。そういうふうに痛切に感じましたね。それからもうひとつ各社から今回は接待の女子の方を沢山出していただいて、とてもよくやつていただきました。しかも中には英語のよく話せる方もおりまして、受付が非常にスマーズにいつたと思いました。心配していた混雑というか、混乱が全然起きなかつたので本当に助かりました。

津村 それで私、随分自分が冷静であったと思ったのですが、ひとつミスをして峰村君にレセプションの席に行けと言うことを忘れちゃったんですよ。それでも彼女はまじめなもんだから会社で留守番をして。(笑い)

太田 峰村さんは私日曜日に昼食会の名簿のことでお会いして、時間をかけてリストアップしていただきたんですが、ああいうことは休みも返上していただいて何日間というものが大変なご努力だったと思います。

津村 いや休みだけでなく、あの時会社の慰安旅行があつたのですよ。そもそも彼女は行けなかつたんですよ。それも彼女は行けなかつたんであります。

太田 とにかく縁の下の力持ち、そういう方々の努力というものは、これは大変なもんだつたんですよ。

津村 時間で私一番困ったのは、私の演説の時なんですよ。時計を見たらまず記者会見の時間が怪しいんです。大臣が六時に来ることを知っています。大臣が六時に来てそう長いこといよいよということは当然の常識で考えてみてもわかるわけですよ。どころが六時にレセプションが始まるとどうかぎりのところにきて、記者会見が実は質問が少く済んでよかつたんで、あれがまともにやつてしまつこい質問なんかされました。

新井 仁丹の社長さんなんか司会の順序の原稿を書きまして、それを野瀬さんに英文に訳していただきまして、それと対照した文書を作つていただいたんですけども、それで仁丹の松田さん(秘書)としゃつちゅう連絡しましたが、この方もご苦労をかけました。

津村 あれはよくやつていただけましたね。紹介する言葉を全部文書にして…。

新井 森下社長は司会にはうつつけのお方だったと思います。英語も使えますし、会議では臨機応変に発言時間なんかも短縮していただきまして、おかげでコーヒー・ブレイクもうまく時間に合いました。三十分ぐらいのズレはありましたが、

津村 時間で私一番困ったのは、私の演説の時なんですよ。時計を見たらまず記者会見の時間が怪しいんです。大臣が六時に来ることを知っています。大臣が六時に来てそういうわけですよ。六時に来てそういう長いこといよいよということは当然の常識で考えてみてもわかるわけですよ。ところが六時にレセプションも始まるかどうかぎりのところにきて、記者会見が実は質問が少く済んでよかつたんで、あれがまともにやつてしまつこい質問なんかされました。

面の野原で、これが東京かと思つて
がっかりした。狐が出るというので
怖くてね、あの辺に使いにやらされ
ると、わざわざ遠回りして、よけて
銀座の方へ抜けたもんですよ。あす
こは岩崎さんが坪一〇銭とかで買わ
されたんだそうですね。

中尾 大木、玉置、中田、福井。
それに、神田三崎町の羽田日豊堂、
あなたのご主人の玉置文治郎さん、
浅草の竹内精巧堂、今川橋の松村三
光堂、神田猿楽町の福島昌平堂、林
惣次さんも独立して、大木分店にな
ってましたね。西村成光堂のご主人
の福田盛光堂は漢藥を兼ねて小田原
方面へ売っていました。横浜では桜
井と清家。

松田 清家さんは愛媛の人で、玉置文治郎とは仲よしでしたね。中尾 玉置文治郎さんは岐阜でしたね。玉置合名会社に奉公してましたよね。あの頃は玉置さんと取引しているということは誇りでしたね。配達機関としては大八車、箱車でしたが、箱車の数が問屋さんの営業規模を象徴していたものです。友田 当時の鈴木日本堂の代表商品といいますと……。やはりトリアンマです。鳥



中 尾 義 隆 氏

印のあんま膏という意味で、これが大量に売れたものです。それから頭痛膏の江戸の花。頭痛膏としては、浅野金黒堂の江戸桜が何といって有名品で、私の方が数は多かつたんです……。主に地方で、東京は江戸桜でした。その定価ですが、大正七年三月に三銭となり、薬局さんでは印紙を一厘追加したんですね。その夏の八月

したよ。ほかにも師岡の一・二・三、玉置のヨーデ水、東京薬品のチーム水もよく売れたもんですね。

れ、ネクタイ締められ、靴まで揃えてくれましてね。洋服が七円、靴、ワイシャツ、ネクタイみんなひらくためて一一円払ったのを覚えていました。着物は小包で送ってくれましたよ。

プロ。当時いちばん進歩していて、鍵剤というものの走りでしょう。包装もポケット型で評判でした。

松田 いつごろの話ですか。
中尾 大正一三年の七月。
松田 私も入隊のとき、友人の運
転手の服を借りて行つたが、ネクタ
イの締め方がわからなくて往生しま
したよ。（笑）
中尾 熊谷に今井屋旅館という当
時一流の旅館がありまして、そこへ
栗原さんで着せてもらつた洋服を着

したか。
中尾 反動でものすごい不景気に
なつて、犠牲者も出ましてね。高橋
是清蔵相の放漫政策が新聞で叩かれ

て行つたんです。ところが、翌る朝
ネクタイがひとりで締められない。
女中さんに頼んだが判らない。ちょ
うど同宿の官員さんがネクタイを締
めているというので、そこへ女中さ

関東大震災を契機として、服装ががらりと変りました。それまでは、出張員といえば、主人の代りというので羽織を着せられて、柾の細かい上等の桐下駄を履いてたものです。ところが、震災後に埼玉県上尾の栗

人が行って締め方を教わり、何とか締めてもらいました。膏薬屋さんが洋服を着ているというので評判になりました。それから二、三年したら呉服屋さんまで洋服を着るようになります。そつゝく、大正六、七、八年になります。

の洋服を売ってましてね。今ごろじ
やらじやら着物なんか着るのはよし
なさい、と強引にワイシャツ着せら

力正六年から一二年頃、私の月給は四円五〇銭だったんですが、着る物は全部自分持ちでした。問屋さんでは二、三円

でしたが、その代り上から下までお店で持ってくれました。私は一年で中元とお年玉を頂きました。今のボーナスとちがって、中味は誰でも五円でした。

友田 大きな楽しみでしたでしょ

うね。

中尾ええ。働く時間は朝の七時から晩の九時までが普通でした。月に一回、一五日がお休みでした。工場といつても、店員兼職工さんだし秋は忙しくて徹夜でした。お灸は春秋に使えるので、お灸のあとに貼る

膏薬ですかね。

松田あかぎれ膏（熊膏）という

のもありましたね。

中尾よく売りました。房州鴨川の尾高薬局からは平和という膏薬、硫黄剤でしたが、よく売れてまし

た。昔は得意さんは親戚みたいにつき合つたものです。汽車は北条

までしか行ってないので、勝浦へは

馬車、熊谷から行田までも馬車でした。馬車賃は片道二〇銭、それが惜しくて早起きして歩いたものです。

駅前に人力車もありましたが、信用をおとすというので、乗ったことは

ありません。

友田新薬のプロバーは人力車で医者回りをしたそうですが。

中尾そんなことはないでしょ

う。呉服屋さんは別で、反物の見本をどうさり持っているので仕方ないんで

す。

友田草加工場はいつ頃ですか。

中尾昭和二年です。

松田一反いくらですか。

中尾反当り二四〇円、六反買つ

たんです。一、八〇〇坪です。坪八

〇錢ですが、高く買ったといわれま

したよ。その後の不景気といつたら

怖ろしいもんでした。金解禁が昭和四年頃、総理大臣が浜口雄幸、井上

藏相のときです。私の五五年間に大

きな事件が八回、大水害、大震災、爆発事故、大東亜戦争なんかありますね。

中尾よく売りました。房州鴨川の尾高薬局からは平和という膏薬、硫黄剤でしたが、中でいちばん苦しかったのが、昭和四、五年の不景気でした。

殺人的でしたね。横浜へ集金に行って、一銭も集金できず、自分の貯金を下げて主人の前に差し出したことがあります。

その頃は物価の安いこと、定価五銭の安福石鹼が出来たのもその頃です。ミツワ石鹼の一五銭のが一三銭で売られていたりね。

不景気が長かったので、大正七年から昭和九、一〇年にかけて、売薬は二〇銭の定価がずうっと据置きでした。どこでも割増特売ばかりしてましたが、トクホンだけは一回も特売をしなかつた。しないというより

毎年倍、倍、倍と売れるので追われていたんです。昭和一年に、妙布が一〇〇万円売れたというので玉置さんで祝賀会を開いたことがあります。

私も、昭和八年に計画を樹てましてね。九年に一〇万円、一〇年に

二〇万円、五年目に一六〇万円とい

う計画を一週間がかりで作成して主

人に差し出たんです、主人は世の中

はそんなに甘くないぞ、というし、

私は口惜しくて、くやしくて主人と

大口論したことがあります。

松田 ところで、トクホンという

のは徳本先生とかいう……。

中尾ええ。甲斐の徳本といわれた永田徳本先生です。号は知足齋。蘭学を早くから長崎から持ちこんだ方です。家庭薬にもずいぶん徳本先生の処方がありますからしてね。徳本先生は信州の御子柴家に寄寓した人なのが、御子柴家の墓所に墓があります。諫訪湖畔近くです。そのお墓をけずりとてゆく人があるんです。

一代将軍秀忠公の大病のとき、蘭学から徳本先生が迎えられたそうです。二代將軍秀忠公の大病のとき、病気が治るといって飲むらしいのです。普通の薬でなく、「峻薬を投じ」とありますから、多分劇薬だったんでしょう。そうしたら全快しました。甲府から徳本先生が迎えられたそうです。普通の薬でなく、「峻薬を投じ」とありますから、多分劇薬だったんでしょう。そうしたら全快して、謝礼に何を望むか、といわれ、米五百俵をもらったので、それをみんな窮民に頒ち与えたという逸話が残っています。百十二歳で歿したそうです。

松田トクホンの発売は先代の存命中でしたか。

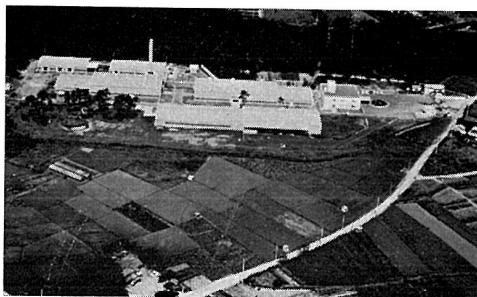


永田徳本先生の史跡

すつかり用意して待つていましたらやつと三千三百回余のテストを経て、出来上りました。「中尾、出来たぞ」と先代が狂喜してやって来られたのをさまざまと覚えていました。お蔭で、先代はノイローゼになり、温泉に湯治に行きました。面白いことに、トクホンがそんなに売れるのに妙布の売行は落ちないんですね。わかもとが出来たときも、太田胃散を食わないんですね。カブれないと、いうキャッチフレーズでしたから、全く新しい需要層をつかんだ訳です。自分ながら驚くほどよく売れたもんですよ。さて、発売したこといいけれど、資金がないので、サンプルをばらまく戦術をとりました。御得意御主人様と表に印刷した袋に入れて四年かかつて日本全国にばらまきました。一日に一人が、○○○枚まかないと帰らないのです。始めは玉置さんには妙布があるからと思って遠慮してたんです。そしたら、田中喜一郎さん——総支配人——に、商売は商売、遠慮なんか要らないから、持つてこいといわれ、それからは、玉置さん専用の特大のリヤカーに積んで納めたのです。景気は昭和一三年頃になつて回復しましたが、戦争が始まつてしましましたが、

た。当时、私は天津方面へ拠点に行ってました。そこへ電報が入つたんです。ゴムが統制、綿布も統制というのです。びっくり仰天して帰京、運よく手が打てました。戦争中は、運よく広告を出したら、驚きました。さすがは日本堂だと見直されました。宮崎の堺屋さんは、半年位の委託にしたらどうだ、といわれ冗談じゃない、九州くんだりまで来てそんな弱い商売なんかするものか、と喧嘩したんです。

昭和47年秋に竣工した宮代新工場



埼玉県製薬に統合され、分工場という名のもとに各自が生産していました。
松田 山崎の毛生液というのがあります。
中尾 そうそう。美人が髪を生やした商標の。
松田 あの片髪印というのを私がやついて、大阪の丹平さんに売り込みを行つたんですよ。そうしたら私の頭をじーっと見て「あなたの頭

二ページ広告を出したら、驚きました。さすがは日本堂だと見直されました。中尾 昭和一〇年から一一年にかけてです。北九州は妙布と、大木さんのマーブラスターでした。二円〇は印籠式の桐箱入りで豪華なものでした。

松田 手作りの立派なものでしたね。私もそれを真似して、桐箱入りのはれやかサックというのを出したことがあります。よく売れました。

中尾 あなたは全く商人だとつくづく思つたことがある。ジュラルミンで灰ならしを作つたり。

松田 あれは芝巴町の自宅でやつたんです。

友田 では、戦後のお話を。
中尾 昭和二三年、統制が撤廃になりました。そこへ電報が入つたんです。九州の拡張では骨が折れましたねえ。問屋の帳合なら安心だが直取引は警戒されていました。ですから、九州でのサンブルまきは一年かかりました。朝日新聞に見開きで二ページ広告を出したら、驚きました。さすがは日本堂だと見直されました。宮崎の堺屋さんは、半年位の委託にしたらどうだ、といわれ冗談じゃない、九州くんだりまで来てそんな弱い商売なんかするものか、と喧嘩したんです。

松田 古い伝統は強いですよ。私

のところで徳田の汗しらずを引き受け、注文とりに回ると、やはり八五のママーブラスターで、金冠さんなどいち早く復興に努力さ

れました。

松田 古い伝統は強いですよ。私は赤字で、私が応援してやつたんですけど、その宣伝ですがね。昭和二六年民放の営業開始とともに、私が最初に使い始めたんです。ゴールデンタイムでも四週間一〇万円でスポットを流せたものです。その頃、CBCは赤字で、私が応援してやつたんですけど、浦太郎、米若、梅鶯など超一流の浪曲家を使つたら売れて売れて、名古屋の売上げが一年で三倍になりました。家庭薬は直販でなければ広告を合理的にやるべきですよ。テレビは昭和一八年、始めは台数がないので、効果があまりなかつたのが、昭和三年頃からテレビ時代になり、

ラジオ不要とまでいわれましたが、自動車の普及に伴って、再びラジオが盛り返しました。新聞はあまり読まなくなつたとはいえ、説得力がありますからね。説明をするものとか、新しい商品には必要な媒体ですかねえ。昔は売上の5%出せば全国五つの新聞が一頁以上契約できんだですからね。現在では、新聞に家庭薬の広告は少なくなりました。

松田

野外広告は。

中尾 目標になるような場所にだけは出していますが、あまり賑やかな所だと、みんな足もとばかり見ていて効果がありませんよ。広告も変ってきたもんですねえ。

(中尾さんは、広告の話になると頗る紅潮し、尽きるところを知りません。五年を企業の発展と、家庭薬の声価向上に精進された功績はこの度の厚生大臣賞として輝いたことでご承知の通り、益々ご健健康とご隆盛を祈つて辞去いたしました。)

(アキラ旅行記) その一

バンジョーとステーキ

津村 順天堂

津 村 昭

私の朝8時の飛行機はシカゴに向っている。今回はサンフランシスコから田川君という私の古い友人が同行することになっており、夜は彼と一緒にデキシーランドシャズをきて歩く予定になっている。私は趣味としてバンジョーを弾き、デキシーランドを始めてもう十何年になるのだが、田川君も同じくバンジョーのプレイヤーで日本でプロとして活躍していたが6年前にサンフランシスコに渡りマウンテンビューノサクラガーデンと云うところでピアノと二人でプレイをしている。私はプレイ以外に古いバンジョーを集めるのがこれ又趣味であり、今回はシカゴの大きなブローカーのリチリューといふ人に会つて、よい楽器があれば買うことになつてゐる。ところがこの樂器つ良い悪いの鑑定がなかなか



ファイル フォードのオフィスで

むずかしい。なにしろ日本では全く良いしろものを見ると云う状態におかれていないので、少しでも珍しい物をみると感激してとびついてしまう危険がある、と云うわけで田川君が後見人としてついて行くわけである。バンジョーのよい物はすべて一九三〇年代に製造が中止されているのでこれ以前に作られた物は音もよく、見た目にも美しいが、残念ながら今は全く数が少く値も上り、入手が困難である。私もこのようなものを買い始めて現在までのコレクションは十本になっている。このシカゴのリチリューと云う人は相当なコレクションを持っているという点ながら今は全く数が少く値も上り、入手が困難である。私もこのようなものを買い始めて現在までのコレクションは十本になっている。このシカゴのリチリューと云う人は相当なコレクションを持っているという点

飛行場にはリチリュー氏が迎えに来いて、すぐに一時間ほどかかる彼の家へ向う。何がみたいかというので高級品がよいというと、二十本ばかりが出てきた。そのうちバラマウント社の物は私も三本はあるので興味がなく、ベーコンのものを欲しいのだが二本あるベーコンナンバーシックスというものがどうも後で飾りをつけた感じであまりピッタリとこない。結局完全なオリジナルはロイスメックのナンバーフォート、これは三年間しか作られなかつたと云うギブソンのヴェラヴォーナエとでこの二つを買うこととした。この二本は値段は別として完全なもので仲々めずらしく、やはりきてよかつたと思つた次第だが、更にも一つエビフォンのCがあつて、私としては食指が動いたのだが、田川君によると

模様のペインントがうすくなっているのが感心しないという意見。結局見合せた。今でも心残りであった程見

ばえのよい楽器だった。商談が成立したのでリチャード氏がステーキをおごると出かけたが、途中でバディ・リーといういいプレイヤーが出ていた

ビザハウスがあるからと云うの寄つてみると。ここでは結局われわれも参加してプレイをしたりして2時間がたつてしまい、そのうちリチャードだけはよいジャム・セッションをやっていると云う店に移動する。

仲々いいメンバーでそこでも飛び入りしたりして、帰ったのは三時。帰つてみると今日喰べたのは要するにビザだけだったことに気がつき途端に空腹と疲れでベッド入り。翌日こそは何かご馳走をと思っていたところへ昨日会つたもう一人のバンジョープレヤーが誘いに来る。昼間は社用があるから夕方五時頃出かけようと思つて行つたところラビオリのミートソースとサラダというメニュー。これではいつになつたら手応え理をご馳走するとのこと。これはよ

く。ボストンでは、会うや否や彼のオフィスへ直行。何をやるのかと思つたらもう一人プレイヤーがきていてオフィスでバンジョーの大会が始つたのはさすがの私も驚いた。夜はステーキとのこと、ようやくこれでないこと。今日の男はサルヴァオといふイタリヤ系で、自宅でイタリア料理をご馳走するとのこと。これはよ

く。ボストンでは、会うや否や彼のオフィスへ直行。何をやるのかと思つたらもう一人プレイヤーがきていてオフィスでバンジョーの大会が始つたのはさすがの私も驚いた。夜はステーキとのこと、ようやくこれでないこと。今日の男はサルヴァオといふイタリヤ系で、自宅でイタリア料理をご馳走するとのこと。これはよ



シカゴのビザハウスで

ここはチエーンのバンジョーミュージックの店で、方々にある。この店は二人のプレイヤーがやつていて

ただがどうも見ているだけではつまらないと云うわけでサルヴァオと三人でとび入り。又々一時間ほどプレイに過ごし又もや空腹で寝ると云う結果となつた。その次の日はニューヨークの予定だつたのを計画変更し以前日本で会つたことのあるボストンのフローラを訪ねる。この男はエレクトロニックスの会社員なのだが、これまで同じくバンジョーを弾く。ボストンでは、会うや否や彼のオフィスへ直行。何をやるのかと思つたがこれは満員でだめ。止むなく

グリニッヂビレッジの例のYour Father's Mustasheへ行く。だがこここのプレイヤーはあまり上手ではなく、又もやアップタウンに戻りジミーライアンスをのぞく。悪い時には悪いことが続くもので、これがまたひどいデキシーラ。もう行くところがなくなり、あるトロンボーンプレイヤーに聞いたファーストアベニューのずっとダウンタウン寄りにジャムセッションがあると云うのを頼りに、ちょうど物騒な地域とは思つたが二人ならなんとかなると出かけた。これが又なかなかよいグループで、田川が飛び入りなどして大いに楽しむこと

飛行機は昼頃だからゆっくり寝てく

れということなのでお言葉に従つたところ、起きるや否や時間を感違いしていた、すぐ出ないと飛行機に間に合わない、朝食はぬきだとのこと。ニューヨークに着くが早いかホテルのルームサービスで生のハマグリ一ダース、スープにビールをと、馳

での夕食は昼間家の前の湖で泳いで釣つたと云う小魚を焼いたものとパンだけだつたそうで、まったく食べ

ものはついていなかつた由。なにしろ田川君も私も食べる方にかけては研究心も食欲も人一倍なのだから、次の日ニューヨークで再会したことだつた。余談だがその夜は例の有名な「オーカルカッタ」を見に行き観客に日本人の多いのには驚いた。ともかく普通のストリップよりはよほど迫力がある。「カルカッタ」の後はカウントベイシーを行つてみたがこれは満員でだめ。止むなく

グリニッヂビレッジの例のYour Father's Mustasheへ行く。だがこここの

プレイヤーはあまり上手ではなく、又もやアップタウンに戻りジミーライアンスをのぞく。悪い時には悪い

ことが続くもので、これがまたひどいデキシーラ。もう行くところがなくなり、あるトロンボーンプレイヤーに

聞いたファーストアベニーのずっと

ダウンタウン寄りにジャムセッションがあると云うのを頼りに、ちょうど物騒な地域とは思つたが二人ならなんとかなると出かけた。これが又なかなかよいグループで、田川が飛び入りなどして大いに楽しむこと

となる。結果はまた夜おそくなつてしまい、田川とはこれでお別れとなるのでホテルで話でもと思ったのだが、どうにも疲れには勝てず早々に寝てしまう。とにかく二人とも空腹とパンジョープレイに過ごした五時間ではあつた。

我々なりの結論ではアメリカ人はたべものを食べるのではなく人間関係を食べるのであると云うこと。カクテルやビールをのんで話を楽しみ、我々は我々でプレーを楽しんだといいうわけである。不思議なのは彼らと云えどレストランに行くと意外によく食べることで、この点今だに結論とまでゆかないのだが、いったいアメリカの人は小食なのかあるいは大食なのか私には疑問である。田川の考えでは彼らがレストランでだけ食べるところはけちであるからだというのだが、そうちとも考えられる。とにかく我々が不満な食事でも彼等は充分らしく、一見足りないようでも、少ないと云うような顔も見せずどうも理解に苦しむ。私は留学中にも仲間の分をかなり平げ、よく食べると言われたもの。他の連中を見ているとたりない様子もないのだが、ただ好みは我々とはかなり違う。あまり塩辛いものはダメで、甘



〈委員会から〉



昨秋の懇親会は、十一月七日、熱海大観荘に多数参加のもと開催され、先づ十一時より理事会を行い、昼食後は懇親麻雀大会と、前回より好評の民謡講習会は佐藤松子講師指導による同好の熱心な稽古もあり、庭に招られる場合は注意を要すると申しあげたい。まずおいしい物はなく悪ければ量がたりない。予め何か食べてゆくとか、何か食べ足すべく、レストランが閉る前に帰ることなどをおすすめする。但しこれは日系人の場合は大いに違うようであり私のこの観察も例のとり方が少なかつたかも知れない。ともかくも外国人に在つての空き腹とはあまり感心した図ではないので、あえて経験を披瀝したわけである。

厚生委員会

のTKGC及び碁会の成績を御報告致します。

TKGC（ゴルフ会）

第八回 四十七年九月二十八日

於 小金井カントリークラブ

優勝 中尾義隆 一等 松村茂

二等 堀昌道 三等 山下準一

四等 堀俊子 五等 秋山義郎

BB 友田真二

第九回 四十七年十一月二十日

於 千葉カントリークラブ

川間コース

優勝 堀昌道 一等 堀泰助

二等 市川一雄 三等 五味尚義

四等 山崎寅 五等 堀俊子

BB 津村幸男

東京家庭薬基会 日本棋院会館

第六回 四十七年十一月二十一日

優勝 畑文雄 初段 四戦四勝

二等 水川敏夫 三段格三勝一敗

三等 橋本逞三 五級 三勝一敗

四等 大竹豊 五級 三勝一敗

以上六回にて第三次戦を終了し優勝
大会決行となります。
(町田弘)

広告委員会

広告委員会は十一月二十七日に東京都府薬務部薬事衛生課青柳課長ほか三名の広告指導担当官の方々をお

招きして懇談会を開催した。今回は担当官より各社のテレビCMをVRTで再映し、ご批判をいたたくことになったので当委員会だけでなく当組合の広告多量実施会社十社の方々にも出席していたとのことでした。

席上、青柳課長はか担当官の方々より、問題点につきご懇切なご指導をいただき各社からも活発な意見が出たことは、きわめて有意義であった。担当官より一年前と較べて各社のテレビCMの姿勢向上がはつきり認められたとご講評があったことは、適正な医薬品広告に対する各社自覚の現われであると共に、薬に対する最近の消費者指向の変化に広告面が敏感に反応を示したものといえるであろう。当日の懇談内容は次の通りである。

①不正表示品が一部見受けられた。
②能書を再検討されたい。

二、製造管理について

①製品及原料等の自家試験を励行されたい。
②ロット番号のつけ落しが一部見受けられた。
③生薬原料の品質規格のばらつきが大きいのがある。

三、テレビCMについて

①厚生省及東京、大阪、愛知の都府県によるテレビCMの四者会議を年に四、五回行う。

②今回はテレビCM七十五件中基準違反等が十件であった。これはこれまでと較べよくなっている。

③商品の歴史を特に表現することは、効能効果の保証となり不可。(これに対しては業界として強い反論がある)

④フィーリング主体広告は剤種によつては止むを得ない。例えば咳止め飴、目薬、便秘薬等。

⑤動物及びそのアニメーションによりコマーシャルを強く言わせるることは不可。

⑥今後の指導重点は基準四の「副作用の発現についての表現の範囲」、基準五の「過量消費又は乱用助長を促すおそれのある広告の制限」、基準十五の「品位の保持等」である。

今後大衆薬の広告は医薬品の安全性と有効性を弁まして大衆に商品知識を広く、速やかに且つ適確に与える事を前提とする企業の販売促進手段としてその重大性を認識されるべきである。(太田昭)

理事堀内伊太郎さん

のご逝去を悼む

津村重舎

堀内さんのご葬儀のときは、外地にいたため参列できず、まことに申

詫なく、且つ残念に思つておりました。外地出張先で突如堀内さんの計報に接したときは、驚き、悲しみ、落胆、愛惜交々入り乱れて万感胸に

せまり何ともいいようのないものでござりました。堀内さんと私とのおつき合いは公私ともに長く、ありし日

の事どもがそれからそれへと思い出されてきました。円満且つご立派な

人格、明晰な頭脳、豊かな情操をもつた。この組合の機関誌「かていやく」が組合員の団結をため、組合の活動にどれだけに役立つてゐるかははかり知れないものがあります。

堀内さんの魂のこもつてゐるこの「かていやく」に堀内さんの追悼の記事を載せるということもこれも何かの因縁でしょう。



故 堀内伊太郎氏

て、当組合の副理事長又は理事として、又業界の他の団体の役員としては、はた又、老舗にして且つ激励する新鮮な発展をしている株式会社堀内伊太郎商店の社長として、わが家庭薬業界に貢献されたその功績が如何に大きかったことかと、今更ながら改めて痛感されます。このような方に、わづかに五十二才の命しか与えなかつた神を恨まさるを得ませんが、一方神は、また私どもがもつと長い年月をもつてしても、果してできるかどうかわからない業績を、五十二年の短い年月の間にできる力を堀内さんに与えたと思えば、もつて瞑すべきかとも無理に思つてみても更に神が尚何十年かを堀内さんに与えて下さつたらと思わざるを得ません。まことに惜しい事であります。本誌「かていやく」は弘報委員長として、堀内さんが精根をこめて、このような立派なものに仕上げました。この組合の機関誌「かていやく」が組合員の団結をため、組合の活動にどれだけに役立つてゐるかははかり知れないものがあります。堀内さんの魂のこもつてゐるこの「かていやく」に堀内さんの追悼の記事を載せるということもこれも何かの因縁でしょう。

当組合の理事者は勿論、組合員全員が堀内さんの遺志を体して、組合と業界の発展につとめることこそ、故人の靈を慰める唯一の途と心得ます。堀内さん、安らかにおねむり下さい。

追悼の詞

茲に謹んで株式会社堀内伊太郎商店取締役社長堀内伊太郎君の御靈前に友人を代表して限りない哀悼の意をこめて弔詞を捧げます。このたび突然君のご逝去の悲報に接し、今私達は驚きと痛惜の念で一杯であります。君の卓越した経営手腕と万人を魅了せすにはいられない円満な性格は、友人として誰もが尊敬し誇りとは全く素晴らしいものであります。すなわち昭和三十八年の浅田飴ビル新築、昭和四十二年の村山工場完成の二大事業を始め、浅田飴を中心とする各種製品の開発、洗練された宣伝、流動的な販売活動には目を見張らせるものがありました。

又業界のリーダーとしても東京都

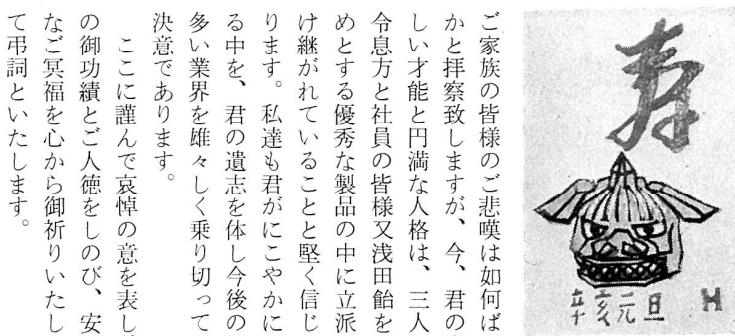


故人の遺作より

家庭薬工業協同組合の副理事長をはじめ、諸団体の理事、或いは業界のPRとコミュニケーションを図る弘報委員長として先に立つて活躍されたのであります。このような非凡な経営手腕を持たれた反面、日常生活に於かれでは円満にして明朗、人間味豊かな君でありました。

自然を愛しては画筆をとり、秋の夜長を読書に耽る君が、特に好まれたものは友と酌み交わす酒ではなくたかと思います。相手の好意を快く受け最後までくずれない酒は君の円満な人となりをよく現わしたと言えます。ヨーロッパ大衆薬協議会出席の折、君とライン川のほとりで酌み交したワインの味は今でも忘れることは出来ません。

いまここに君と幽明境を異にすることは信じられないような悲しさであります。奥様の恵美子様をはじめ



凍雲

玉置石松子

凍雲や一事に十指かたく組む

紅葉ちる青松禪寺大庇

燒香を終えよろめきぬ霜枯に

喪服脱げば疲れ俄かや冬灯

枯野星一つは今宵生れし星

喪のテント一途につかむ冬の蜂

年果つるぼづかりあいた暗い穴

ここに謹んで哀悼の意を表し、君の御功績とご人徳をしのび、安らかなご冥福を心から御祈りいたしました。弔詞といたします。

昭和四十七年十二月十一日

友人代表

株式会社太田胃散
取締役副社長 太田 昭

編集 印刷・発行 東京都家庭薬工業協同組合会報

かていやく 第二十五号

昭和四十八年一月二五日発行

東京都家庭薬工業協同組合会報
東京都中央区銀座八・十八・十六

電話（五四三）一七八六

去る四十七年十二月八日故堀内伊太郎氏の生前の功績に対し、閣議決定により、從五位勲四等瑞宝章を賜わりました。